

平成26年度
「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」班
「運動失調症の分子病態解明・治療法の開発に関する研究」班
合同研究報告会

1 日目 : 平成27年1月14日 (水) 9時50分～17時15分

開始時間	演題番号	研究者氏名	区分	演題名	発表者
(9:50)	研究代表者 挨拶 (独) 国立精神・神経医療研究センター病院 水澤英洋				
(9:55)	厚生労働省健康局疾病対策課 挨拶				
I. 疫学・臨床病理 (10:00-10:45) 座長 : 辻 省次					
10:00	1-1	石川欽也	医療班	脊髄小脳失調症36型 (SCA36) の疾患頻度と臨床症候 : 仏・独・日3か国共同研究	石川欽也
10:15	1-2	高嶋博	医療班	エクソーム解析による常染色体劣性遺伝型小脳失調症の新規原因遺伝子の同定 - 軸索型ニューロパチーを伴う小脳失調症の二家系 -	樋口雄二郎
10:30	1-3	若林孝一	医療班	Unverricht-Lundborg病の臨床的および病理学的検討	三木康生
II. 歩行評価法 (10:45-11:25) 座長 : 宇川 義一					
10:45	1-4	吉田邦広	医療班	3軸加速度計を用いた小脳失調症における立位・歩行機能の定量的評価の有用性(10分)	松嶋聡
10:55	1-5	西澤正豊	医療班	Kinect を用いた3次元歩行解析システムによる小脳性歩行障害の解析	他田正義
11:10	1-6	佐々木秀直	医療班	脊髄小脳変性症における歩行解析	矢部一郎
III. 画像・バイオマーカー (11:25-12:10) 座長 : 吉良潤一					
11:25	1-7	宇川義一	病態班	小脳での時間保持機能	寺尾安生
11:40	1-8	佐々木真理	医療班	拡散尖度画像を用いた運動失調症の早期鑑別診断基準の検討	伊藤賢司
11:55	1-9	岡澤 均	医療班	ヒト血液、髄液を用いたSCA1のバイオマーカー探索	岡澤均
12:10-13:10	昼 食 「運動失調症の医療基盤に関する調査研究班」 研究者会議				
IV. 診断基準 (13:10-13:50) 座長 : 西澤正豊					
13:10	1-10	吉田邦広	医療班	皮質性小脳萎縮症の診断基準案策定に向けた孤発性失調症の臨床的検討	吉田邦宏
13:20	1-11	桑原 聡	医療班	孤発性皮質性小脳萎縮症の診断指針作成の試み	澤井摂
13:35	1-12	瀧山嘉久	医療班	痙性対麻痺診断基準案の妥当性の検討	三輪道然
V. ガイドライン、患者登録 (13:50-14:50) 座長 : 佐々木秀直					
13:50	1-13	宮井一郎	医療班	脊髄小脳変性症に対するリハビリテーションガイドライン作成に向けて	宮井一郎
14:05	1-14	水澤英洋	医療班	運動失調症/SCD・MSA診療ガイドライン	水澤英洋
14:20	1-15	中島健二	医療班	Machado-Joseph病、脊髄小脳失調症6型の自然史研究の遺伝子収集と解析	安井健一

14:35	1-16	高橋祐二	医療班	運動失調症患者登録・自然歴調査J-CAT	高橋祐二
14:50-15:10	コーヒーブレイク				
VI. MSAのバイオマーカー、患者登録 (15:10-16:10) 座長 : 中島健二					
15:10	1-17	辻 省次	医療班	多系統萎縮症に対する治験に向けたレジストリー・システムおよび臨床指標評価に関する検討	辻省次
15:25	1-18	祖父江 元	医療班	多系統萎縮症におけるインターニューロンの病理学的解析	勝野雅央
15:40	1-19	武田篤	医療班	多系統萎縮症での[11C]BF-227 PETによる α -シヌクレイン蛋白凝集体の経時的変化	菊池昭夫
15:55	1-20	吉良潤一	医療班	多系統萎縮症の病態形成における自然免疫の関与とバイオマーカーの探索	山崎亮
VII. MSAの発症機序 (16:10-17:25) 座長 : 岡澤 均					
16:10	1-21	佐々木秀直	病態班	ゲノムコピー数多型による多系統萎縮症発症素因遺伝子の解析 (第2報)	佐々木秀直
16:25	1-22	石川欽也	病態班	多系統萎縮症におけるp25 α /TPPPのミトコンドリアに対する影響の検討	太田浄文
16:40	1-23	祖父江元	病態班	多系統萎縮症の脳内神経回路解析	原一洋
16:55	1-24	武田篤	病態班	シヌクレイノパチーにおける小胞輸送系の役割	長谷川隆文
17:10	1-25	貫名信行	病態班	シヌクレイノパチーにおける凝集制御因子の探索	貫名信行
17:25終了					

2日目 : 平成27年1月15日(木) 9時00分～13時30分

開始時間	演題番号	研究者氏名	区分	演題名	発表者
VIII. 生理学的解析 (9:00-9:45) 座長: 阿部 康二					
9:00	2-1	宇川義一	医療班	プリズム順応の学習速度と記憶保持について	花島律子
9:15	2-2	田中真樹	病態班	Tract-based spatial statistics (TBSS) と心理物理検査との相関解析によるタイミング予測に關与する小脳領域の同定	吉田篤司
9:30	2-3	寛 慎治	病態班	脳内運動制御器の非侵襲的分析を利用した高齢者の転倒リスク早期発見・対応システムの開発	寛慎治
IX. 発症機序・動物モデル (9:45-10:45) 座長: 祖父江 元					
9:45	2-4	岡澤 均	病態班	iPS細胞由来ヒト神経細胞を用いたSCA1の病態研究	岡澤均
10:00	2-5	和田圭司	病態班	新たな細胞内RNA分解システムRNautophagyと神経変性疾患との関わり	株田智弘
10:15	2-6	若林孝一	病態班	ハンチントン病細胞モデルにおけるSigma-1 receptorを介した核内封入体の形成機序	三木康生
10:30	2-7	平井 宏和	病態班	ウイルスベクターを用いた脊髄小脳失調症モデルマウスの作成	平井宏和
X. 疾患別発症機序 (10:45-11:45) 座長: 小野寺 理					
10:45	2-8	松浦 徹	病態班	脊髄小脳失調症10型 (SCA10) のRNA病態メカニズム	松浦徹
11:00	2-9	阿部康二	病態班	新しいSCA/ALS crossroad mutation Asidanの臨床的多様性	山下徹
11:15	2-10	瀧山嘉久	病態班	痙性失調症を呈したPLA2G6複合ヘテロ接合性変異の一卵性双生児例	高紀信
11:30	2-11	後藤順	病態班	歯状核赤核・淡蒼球ルイ体萎縮症蛋白質 (DRPLap) の転写 co-regulatorとしての標的遺伝子の検討	波多野敬子
11:45~12:45	<p style="text-align: center;">昼 食</p> <p style="text-align: center;">「運動失調症の分子病態解明・治療法の開発に関する研究班」研究者会議</p>				
XI. 治療法開発 (12:45-13:30) 座長: 和田圭司					
12:45	2-12	池田佳生	病態班	非翻訳マイクロサテライト・リピート伸長によるSCAの治療薬探索	古田夏海
13:00	2-13	小野寺理	病態班	DRPLA (Dentatorubral-Pallidoluysian Atrophy) をモデルとしたAntisense-Oligonucleotide発現抑制を用いたポリグルタミン病治療戦略研究	加藤泰介
13:15	2-14	宮嶋裕明	病態班	低セルロプラスミン血症を伴う運動失調症の解析と亜鉛治療の検討	宮嶋裕明
13:30終了					

2日目 : 平成27年1月15日(木) 14時00分～16時00分

14:00~16:00	小脳研究会
-------------	-------